

失語症とコミュニケーション支援

1

失語症とは

高次脳機能障害の1つ。
言語機能の脳の言語に関する中枢が損傷されることにより、それまで自由に使っていた、「聞く」「話す」「読む」「書く」ということばの機能が低下する状態。

イメージ

周囲の人が全く知らないことばを話し、
見たことがない文字が使われている
異国に、1人で置かれた状態。

2

失語症に関する質問 1 ○か×か

1. 強いストレスや精神的ショックを受けると失語症になることがある。
2. 失語症の原因としては脳卒中など脳の損傷によるものが最も多い。

3

失語症に関する質問 2 ○か×か

1. 失語症になると全く話すことができなくなる。
2. 失語症のある人は舌などの麻痺のためスラスラ話せない。

4

失語症に関する質問 3 ○か×か

1. 失語症のある人がうまく話せない場合、「あいうえお」の50音表を指さしてもらうとよい。
2. 失語症のある人は、漢字の方がひらがなやカタカナより理解しやすい。

5

失語症に関する質問 4 ○か×か

こちらの言うことが失語症のある人に十分理解されない時には

1. 大きな声で伝えるとわかりやすくなる。
2. キーワードを文字で書いて示すとわかりやすくなる。

6

失語症に関する質問 5
○か×か

1. 失語症の症状には、それが何であるか、どんなものかわかっていてもその名前を正しく言えないことがある。
2. 話すことが難しい場合には、「何が食べたいですか。」という質問より、「はい」か「いいえ」で答えられる質問の方が答えやすい。

7

失語症に関する質問 6
○か×か

1. 失語症のある人の障害は外から見えやすく、わかりやすい障害である。
2. 失語症のある人の言っていることがこちらにわからないときは、わかったように相づちをうってあげたほうがよい。

8

失語症ではことばの様式が
いずれも障害される

	表出	理解
音声	話す	聞く
文字	書く	読む

9

失語症の症状 聞く側面

- ✓ 耳は聞こえている。聴力の問題ではない。
- ✓ 聞いて理解することが難しい。
- ✓ 複雑な内容や長い文、また話し方が早いと理解は特に難しい。
- ✓ 復唱はできても意味を理解していない場合がある。

10

失語症の症状 話す側面

- ✓ わかっていても言いたいことばが出てこないことがある（喚語障害）。
- ✓ 言い間違えて別のことばを言う（みかん⇒リング、みたん）
- ✓ 意味が分からない発話になる などの場合がある。
- ✓ 流暢・非流暢 滑らかな話し方、たどたどしい話し方

11

失語症の症状 読む側面

- ✓ 文字は見えていても意味が理解できない。
- ✓ 一般には漢字が仮名より理解しやすい場合が多い。
- ✓ 声に出して読むことが難しくなる。
- ✓ 音読ができて、意味は理解できていない場合がある。

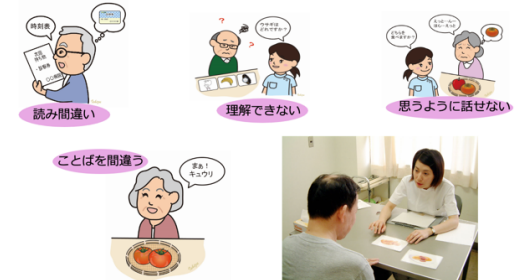
12

失語症の症状 書く側面

- ✓ 書こうとする文字が思い出せない。
- ✓ 文字を書き誤ることがある。
- ✓ 一般には仮名が漢字より難しい。
- ✓ 文法の問題もあり、文章を書くことは特に難しい。

13

ことばの症状



14

失語症のタイプ

代表的なもの

- ✓ フローカ失語
聞いて理解する能力に比べ話す能力の障害が重い。
運動麻痺を伴うことが多い。
- ✓ ウエルニッケ失語
話す能力に比べ聞いて理解する能力の障害が重い。

15

失語症の重症度

障害の程度は人によってさまざまである

- | | |
|-----|---|
| 軽度 | 日常会話のやり取りはおおよそ可能。
時に聞き誤りや、うまく話せないことがある。 |
| 中等度 | 簡単な日常会話のやり取りは可能。
適切な推測、答えやすい方法の工夫、文字やジェスチャーの使用なども有効。 |
| 重度 | 本人から何かを伝えることは困難でやりとりの場面は限られている。 |

16

合併しやすい症状

- ✓ 気分の変化が激しくなることがある。
- ✓ 疲れやすい、集中力が低下する、などのことが見られる。
- ✓ 同時に複数のことの処理が難しいことがある。

17

失語症のリハビリテーション

発症後、病院などの医療機関で入院しての言語聴覚療法
自宅に帰り、地域での生活

言語機能が100%回復するのは難しい

18

失語症の特徴

- ✓ 言語機能の障害がある。
- ✓ 脳の損傷部位によって症状も重症度も異なる。
- ✓ 運動麻痺を伴うことも多い。
- ✓ 心理的問題を抱えることも多い。
- ✓ 家族も心理面で負担がある。
- ✓ 社会保障面での問題がある。

19

発症前と同じに保たれる能力

- ✓ 知的機能
- ✓ 状況の判断
- ✓ 社会的礼節、場面に応じた対応
- ✓ 時間、場所、できごとの記憶

➡ 失語症のある人とのやり取りに活用できる

20

会話の基本

- ✓ 本人の意向を確認する。
- ✓ 本人の人格を尊重し、対等の立場で話をする。
- ✓ 落ち着いた雰囲気です話をする。
- ✓ 本人を不安な気持ちにさせない。

21

全般的な留意点

- ✓ 本人のわずかな変化に注意する。会話に役立つ情報が含まれている。
- ✓ 適切な距離をとり、表情を見ながらゆっくり話しかける。
- ✓ 本人のはっきりしない反応をうやむやにしない。はっきりしない反応の中に本当に伝えたい内容があることも多いので、確認をする。
- ✓ 本人が話している間は最後まで待つ。

22

事例：翌日の医師の診察について 施設職員が説明した場面

明日、8月10日（火）は午後1時から医師の診察があります。受診の前に検尿と血液検査をしますので2階の処置室に12時半までにいらしてください。尿を提出して採血が終わったら今度は1階の診察室に行ってください。やっていただくことがたくさんありますので、昼食は11時半からになります。

23

理解面を補う

- 発話するときに注意すること
 - 明確に、ゆっくりと話す
 - ✕ 早口や不明瞭な話し方
 - 簡潔に、使い慣れている言葉で話す
 - ✕ 長々話す、難しいことばを使う
 - 文節ごとに間を取る

良い例：

「明日、診察が、あります。1時からです。・・・」

24

理解面を補う

○ 他の言葉で言い換える

例

言語聴覚士A : 「生年月日はいつですか？」
失語症のある人 : 「せいねんがどうしたって・・・」
言語聴覚士A : 「生まれた日、お誕生日、
誕生日はいつですか？」

25

理解面を補う

○ 同じ言葉を繰り返す

一度で伝わっていないと思われる場合、同じ言葉を繰り返してみる。

例：

言語聴覚士A「もうご飯は食べましたか。」
失語症のある人「・・・？」
言語聴覚士A「もうご飯は食べましたか。」

26

理解面を補う

○ 視覚的情報の提示

- ・ 要点を筆記しながら、絵や図も加えながら話す。
- ・ 実物を指さしたり、意図して大きな身振りをする。

27

理解面を補う視覚提示の例

明日の予定

8月10日（火） 午後1時 診察

11時30分 昼食

12時30分 ➡ 2階 処置室

検尿と採血

13時（午後1時） ➡ 1階 診察室
診察

28

理解面を補う

○ 話題を変える場合の注意点

- ・ 会話の途中で、急に話題が変わると混乱することがある。
- ・ 話題を変える場合は、話題が変わることをわかりやすく示してから話題を変える。

例：「ここから別の話です」
「話は変わりますが」

29

表出面を補う

○ Yes-No質問

- 1) お昼に何を食べましたか。
- 2) 相撲は好きですか。
- 3) リハビリはもう終わりましたか。
- 4) いつ病院に行きますか。
- 5) 外は雨が降っていますか。
- がついている質問は、はい—いいえで答えることができる。

30

表出面を補う

○ Yes-No質問

例：伝えたいスポーツが何であるかを引き出すためにカテゴリーを狭めていく。

言語聴覚士A	失語症のある人
それは外でやりますか。	→ いやあ
それはボールを使いますか。	→ はい
ラケットを使いますか。	→ うん
それは卓球ですか。	→ そうそう。

31

表出面を補う

○ 選択質問

- 文字で選択肢を提示 寿司 焼肉
- 実物や写真あるいは図などを提示

- ※質問の意味が理解されていることを確認する
- ※適切な選択肢の数とする
- ※選択肢は話ことばと同時に提示する

32

資料 失語症について

- 相手の話や声は聞こえていても、話の内容が理解できないことがある。
- 聞いてもらいながら実物や文字など視覚的情報も併用すると理解が促される。
- 話すことが難しい場合に実物や絵、漢字などを指さしてもらうとよい。
- 話すことが難しい場合には「何が食べたいか」という質問より「はい」「いいえ」で答えられる質問の方が答えやすい。
- 失語症のある人の言っていることがこちらに伝わらない場合に、わかったように相槌をうつのは避け、わからないことを伝え、わかる努力を続ける。
- 失語症になっても発症前のその人らしさは変わらない。
- 失語症のある人は記憶や周囲の状況の理解は保たれている。
- 失語症があってもカレンダーや地図は理解できる。

33

他のコミュニケーションの問題への応用

- Cognitive Communication Disorders
- 認知症
- 他の高次脳機能障害

34

参考文献

- 1) 藤田郁代監修：標準言語聴覚障害学 失語症学 第3版,医学書院,2021
- 2) 一般社団法人日本言語聴覚士協会 令和5年失語症者向け意思疎通支援者指導者研修テキスト,2023
- 3) 深瀬順一編：図解 言語聴覚療法技術ガイド 第2版,文光堂,2022
- 4) 本田哲三編：高次脳機能障害のリハビリテーション 実践的アプローチ 第3版,医学書院,2016
- 5) NPO法人全国失語症友の会連合会：失語症の人の生活のしづらさに関する調査。2013. <https://www.japc.info/img/file64.pdf>, 2024.9.10
- 6) NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音編：三訂 失語症の人と話そう.中央法規,2024
- 7) 竹中啓介,吉野真理子：失語のある人との会話における対話者の会話態度と会話技術を評価するための観察評定尺度の開発および信頼性と妥当性の検討. コミュニケーション障害学.35;55-63,2018

35

© 厚生労働科学研究：高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究班

36